

は じ め に

国営諫早湾干拓事業は、諫早湾の湾奥部を締切り、調整池及びかんがい用水が確保された大規模で平坦な農地を造成し、生産性の高い農業を実現するとともに、背後低平地において、高潮、洪水、常時排水不良等に対する防災機能を強化することを目的として実施されました。

本事業によって新たに造成された約670ヘクタールの農地では、平成20年4月から、環境にやさしい農業の実践のために長崎県特別栽培農産物や有機栽培農産物の認証取得に取り組む41の経営体により営農が開始され、初年度から露地野菜、施設園芸など40品目を超える多種多様な農作物が栽培されています。

県では、営農者の方々に試験研究成果や栽培技術・経営支援等ワンストップサービスを提供するために中央干拓地に営農支援センターを設置し、広大で平坦な諫早湾干拓農地の特徴を生かした環境と調和した生産性の高い先進的な農業の展開と、安全・安心な農産物の安定供給を目指しているところです。

本書は、土づくりを主体に減化学肥料対策技術や減化学農薬栽培技術など環境保全型農業に応用できる個別技術や干拓農地で栽培されている主要品目の環境保全型農業技術体系等を、諫早湾干拓営農者に対する技術指導のための資料として、また諫早湾干拓入植者がこれらの技術を実践するための手引き書として、農林技術開発センター干拓営農研究部門が関係機関の協力を得ながらとりまとめたものです。

大規模経営に対応した環境保全型農業実践に向けご活用ください。

平成23年3月

長崎県農林部長

濱本磨毅穂